平塚市ごみ通信

創刊号 平成22年11月1日発行

| 発行| 平塚市 環境部 資源循環課(平塚市浅間町9-1) TEL:0463-21-9763(直通)

FAX: 0463-21-9603 http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/shigen-j/gomi-top.htm

『平塚市ごみ通信』を創刊します



市民の皆さんに、平塚市のごみの現状を知ってもらい、「ごみの減量」の大切さ を、より一層理解していただくため、『平塚市ごみ通信』を創刊します。

創刊号では、「平塚市のごみの現状」「すぐにできる燃せるごみの減量方法」を紹介します。

平塚市ごみ減量・資源化キャラクター「クルクル」

平塚市のごみの現状を、皆さんご存知ですか?

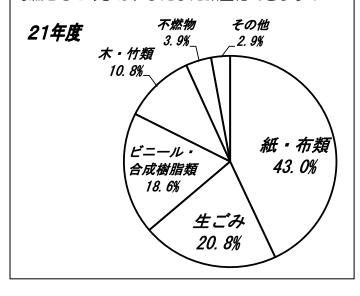
ごみの量は、ここ数年減少傾向ですが、更に、ごみの焼却量を減らし、安定したごみの処理を行うために、平塚市では、今年度の焼却処理量を 71,718 t にすることを目標としています。

【ごみの焼却処理量と総排出量】

年 度	焼却処理量	総排出量
18 年度	79,299 t	100,694t
19 年度	78,165 t	98,937 t
20 年度	75,660 t	95,714 t
21 年度	72,265 t	91,452 t
22 年度	71,718 t	D ₄ m;
		日標值

【燃せるごみの内訳】

紙の分別の見直しや生ごみの水きりなどにより、 『燃せるごみ』は、まだまだ減量化できます!



【1人1日当たいのごみの排出量】

年 度	ごみ排出量
18 年度	1,062 g
19年度	1,039g
20 年度	1,006 g
21 年度	963 g

平成22年3月に大磯町と共催で「ひらつか・おおいそ」ごみ減量化フォーラム」を開催。

ー人一日当たり100グラム、みかん1個分の燃 せるごみを減らすことを目標に掲げています。

ごみ減量化宣言

- 1. 3R(リテュース・リユース・リサイクル)を徹底しよう
- 1. 生ごみの水切りを徹底しよう
- 1. 紙類は、可燃ごみから資源再生物に出そう
- 1. マイバッグを持参してレジ袋を削減しよう

できることから始めよう!

ごみを分別する時に、少し手間をかけるだけで、リサイクルするものが増えたり、「燃せるごみ」を減らすことができます。 1 人 1 日 100gを減らすために、できることから始めてみましょう。

★『その他の紙類』はリサイクルできます!

「燃せるごみ」に出していませんか?

『その他の紙類』

包装紙・はがき・封筒・菓子箱・チラシ等 (名刺サイズ以上はリサイクルできます)

⇒紙袋に入れるか

ひもでしばって束ねて

「資源再生物」の日に出してください

※アルミコーティングされた紙、レシート 捺染紙/昇華転写紙(アイロンプリントの紙)などは ⇒「燃せるごみ」へ

★「プラクル」はしっかり分別を!

食品やお菓子の袋など マークのついたものは、分別して資源再生物の集積所へ

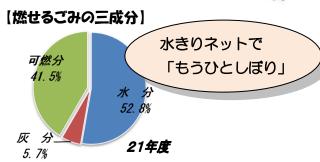
- ①使い切る!食べきる!
- ②汚れをとる!
- ③半透明・透明の袋に入れて出す!



★生ごみを減らそう!

●生ごみの水きり

「燃せるごみ」の半分は水分です。



●生ごみ処理機を利用

家庭用電動生ごみ処理機やコンポスターを利用すれば、生ごみを減量・堆肥化できます!

平塚市で助成しています

◎家庭用電動生ごみ処理機

補助金額:本体価格2分の1(限度額30,000円) 事前に申請が必要です。詳しくは、

⇒資源循環課(21-9763)へ

◎生ごみ処理機(コンポスター)

環境業務課、リサイクルプラザで購入できます。 ⇒環境業務課(21 - 8796) または リサイクルプラザ(51 - 5301) へ

お願い

①ダンボールは・・・

燃せるごみ等の容器に利用しないで、 資源源再生物として排出してください。







②布類、牛乳パックは・・・ 雨の日には出さないで! 資源再生できません



お知らせ

●大型ごみの収集が千ケット制になりました (平成22年4月1日から)

【変更後の大型ごみの排出方法】

- ①事前に収集日を予約⇒環境業務課(21 · 8796) (※ごみの種類・寸法もお知らせください。)
 - ⇒「臨時ごみ納付券」の枚数をご案内します。
- ②指定のコンビニエンスストアなどで

「臨時ごみ納付券」を購入(1枚500円です。) (※券には、お名前と収集日を必ず記入して下さい。)

③ごみに「臨時ごみ納付券」を貼り付け、予約した収集日の朝8時30分までに決められた場所へ

